

第1章 来街観光客のみやげ品についての意識

奈良を訪れる観光客が期待するみやげ品を明らかにするため、奈良市の2箇所において観光客からみやげ品のアンケートを実施した。

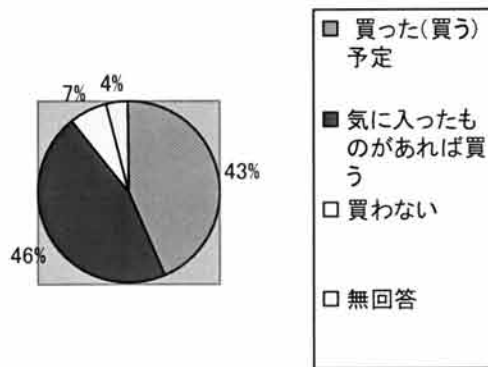
観光客が多いシーズンの2日間を選び、来街者が多い2箇所において調査を実施し、多くの観光客に協力を頂いた。388人から頂いたアンケートのまとめ及び自由な意見を報告する。

1. みやげ品についてのアンケート結果

(1) みやげ品を購入したか、または購入の予定はあるか

みやげ品を購入するつもりの人が43%、気に入ったものがあれば購入するつもりの人が46%いる。合計すると89%にもなるが、観光客は買い物を楽しみにしている。

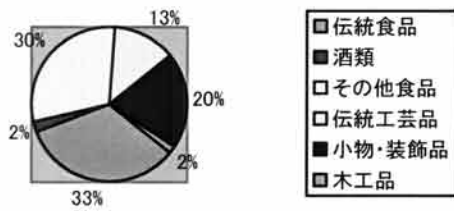
買った (買う予定)	気に入ったものが あれば買う	買わない	回答無し	計
168 (43%)	178 (46%)	27 (7%)	15 (4%)	388 (100%)



(2) 観光客はどんなみやげ品を買っているか(複数回答あり)

奈良の伝統的な食品が33%と最も多く、酒類、その他の食品をあわせると65%になる。小物装飾品が20%、伝統工芸品が13%ある。もう少し詳しくみると奈良漬が72人と断然トップ。続くのがお菓子の46人である。伝統工芸品の筆、墨を挙げる人は5人と少なかった。

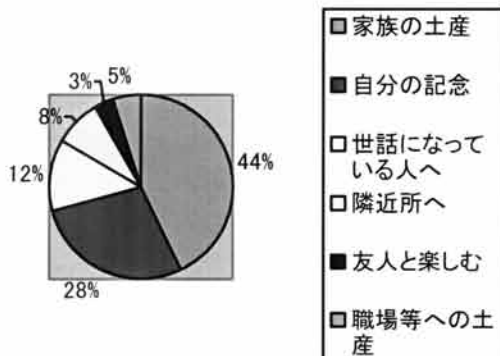
伝統的な食品	117 (33%)
酒類	8 (2%)
その他の食品	104 (30%)
伝統工芸品	46 (13%)
装飾品・小物	70 (20%)
木工品	6 (2%)
計	351 (100%)



(3) 誰のためのみやげ品だろうか (複数回答あり)

昔のように隣近所や職場、学校等へのみやげの為に買う人は13%と少なくなっている。家族のために買う人が44%、自分の為に買う人が28%とあわせて72%になる。

家族への土産	自分の記念	世話になっている人へ	隣・近所の土産	友人と楽しむ	職場・学校の土産	計
148	98	43	29	12	17	347
44%	28%	12%	8%	3%	5%	100%

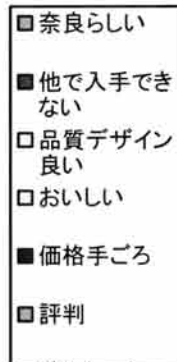
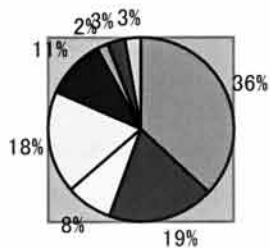


(4) そのみやげ品を選択した基準は (複数回答あり)

奈良らしいという理由で選択した人は37%、奈良にしかないものという理由で選択した人は19%である。奈良にこだわりをもった選択基準は合わせて56%である。商品の内容やデザインによさや価格で選択した人は44%である。

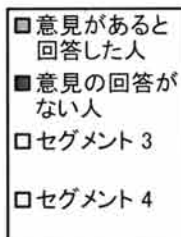
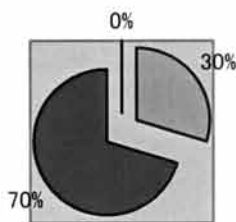
奈良らしいから	145 (36%)
他では手に入らないから	73 (19%)
おいしいから	71 (18%)
品質やデザインが良いから	31 (8%)
価格が手ごろだから	42 (11%)
評判だから	7 (2%)

以前から欲しかった	12 (3%)
贈る人の好みに合う	11 (3%)
計	392 (100%)



2. 観光客は奈良のみやげ品についてどのような考えを持っているのだろうか(観光客の自由な意見より)

★奈良のみやげ品について意見がある人



奈良のみやげ品についてどのようなお考えをお持ちですかという質問に、115人の人からさまざまな意見が寄せられた。大きくには5つに分けられる。

1) 苦情、または批判的な少し耳の痛い意見

- ① 伝統に胡坐をかいているという意見 …… 2人
店のもてなしの態度が悪いという意見。
- ② 伝統的な物の価格が高すぎるという意見 …… 3人
庚申堂のお猿さんが15,000円はぼったくりだ、本物と偽者がある等。
- ③ 特徴がないという意見 …… 3人
 - ・他の観光地と似ている。
 - ・良いものがない。
 - ・奈良といえば〇〇〇というものがない。

奈良漬以外はイメージが湧かない。

- ・女性の目を楽しませるものが少ない等。

(2) 奈良独特の物があればよいのという意見 ……16人

- ・お茶漬け屋さんが少なくなったのは残念である。
- ・京都とは違った奈良らしい独特のもの。
- ・新しい奈良らしさをイメージするもの。

奈良の素朴さを失わないように奈良の良さをだしたもの。

(3) 積極的な提案 ……59人

- ・商品について具体的な提案が多かった。

① 中でも食品についての意見が多い。

- ・平城京時代のお菓子。
- ・奈良漬の漬け地を活かしたもの。
- ・柿や葛を活かしたお菓子。
- ・またお寺とか鹿をかたどったお菓子等。

② 小物について

- ・鹿の携帯ストラップなどの実用的なもの。
- ・50代後半の女性向けの絵柄スカーフ、布の小物等。

③ その他工芸品

- ・木工品、正倉院グッズなど多様多彩な意見あり。

(4) その他のアイデア

- ・町屋がもっと発展してほしい。
- ・芸術にかかわる高価なもの。
- ・音楽を活かしたもの。
- ・国際会議場を設置すべきである。
- ・奈良に先端技術をとという意見もあった。

(5) 積極的に評価している意見 ……22人

- ・筆、墨、茶碗等特定商品について、あるいは雰囲気などについて、気に入った。

3. 他の観光地のみやげ品でこれまでに最も気に入ったもの

質問に答えた人は105人、上げられた品はいろいろあったが、その観光地のイメージが反映しているみやげ品が買い求められているようだ。

■ 県別のベスト3を挙げると、京都、北海道、沖縄であった

順位	観光地	人数	具体的な商品
1位	京都	16人	生八つ橋 生麩
2位	北海道	10人	マルセイサンド チーズケーキ
3位	沖縄	8人	シーサー（魔よけの獅子の置物）

4. まとめ

奈良への観光客は、神社仏閣への参拝、及びそれらで定期的に行われる催しものを見学するために訪れたり、またぶらっと訪れたりしている人が多いが、買い物自体を目的に来街する人は少ない。しかし観光客は買い物を予定していたり、予定していなくても気に入ったものがあれば買うという人があわせて81%にも挙がるのは心強い。

買い物は昔のように隣近所や職場の上司・同僚・部下のためや学校の友達に買う人は少なくなっており、家族や自分の記念にために買う人が多い。従って品物の選択もより自分本位に厳しくなっているように考えられる。

みやげ品を選択する時において、みやげ品の内容を重視するのはもちろん大事だが、奈良らしいものや、奈良以外では手に入らないものを基準とする人が過半数を占めている。

実際に買いたい、買う予定の商品は奈良の伝統的な商品をあげる人が多い、その中でも食品を選択する人が多く。奈良漬は定番商品になっている。

また伝統工芸品の筆や墨を挙げる人は少数である。

自由意見においては、奈良らしいものがないという意見、奈良独特なものを求める声が多かった。奈良は観光客の期待に答えていない。近くの観光地の京都に対比して、軍配が京都に上がるようであれば、反省の余地が多いにある。鑑は遠きにあらず近くにあり。

積極的な商品開発が求められる。（観光客よりも具体的な商品の提案も挙げられている）また積極的に販路開拓も行うべきである。伝統工芸品をとりあげても、墨や筆などの品はみやげ品として並べるだけでなく、イベントの開催に結びつけ需要の喚起を図ることも大切である。

その他参考となる、積極的な提言も多かった。

来街者アンケートは奈良のみやげ品の問題点を指摘し、開発のための大きなヒントを提供してくれている。

★参考：回答者のプロフィール

(1) 回答者の性別

女 性	男 性	回答無し	計
225 (58%)	158 (41%)	5 (1%)	388 (100%)

■女性：男性 59：41と女性がやや多かった。

(2) 回答者の年齢

10代	7 (2%)
20代	41 (11%)
30代	57 (15%)
40代	45 (12%)
50代	119 (31%)
60代以上	101 (26%)
回答無し	18 (4%)
計	388人 (100%)

■50歳以上が220人と57%を占める。続くのは30歳代の57人、40歳代の45人となっている。回答者は中高年者が多かった。

(3) 観光客の姿

① 奈良への訪問回数

はじめて	2～5回	6回以上	計
21 (5%)	151 (39%)	216 (56%)	388 (100%)

■6回以上が216人、2～5回が151人とあわせて95%もある。はじめて来られた人は21人と5%に過ぎない。奈良は日本を代表する観光地であるので誰でも一度は訪れる。そして奈良の魅力に惹かれて、頻繁に訪問する観光客が多い。

ちなみに東京デズニールランドの97.5%のリピート率に匹敵する。

② 誰と一緒に来ているのだろうか

家族・友人と	302 (78%)
一人で	55 (14%)
趣味・地域団体	14 (4%)
職場・学校	8 (2%)
その他	8 (2%)
回答無し	1 (ー)
計	388 (100%)

■家族・友人などの親しい人との同伴が302人(78%)と多い。一人で来られた人は55人(14%)である。いわゆる団体客が極端に少ないのが気にかかる場所である。観光客の誘致活動にも問題があると思われる。

③ 何を目的に来ているのだろうか(複数回答あり)

社寺見学	117 (26%)
催し物	125 (28%)
ぶらっと	154 (35%)
趣味の活動	13 (3%)
買い物	8 (2%)
食事	10 (2%)
他の用事のついで	9 (2%)
その他	6 (1%)
計	442 (100%)

■最も多いのはぶらっと来た人が154人(35%)である。10月9日は鹿の角切り、10月29日は正倉院展の行事にあわせて観光客が多かったものと思われる。社寺見学とあわせた観光客は54%になる。買い物を目当てに訪れた人は2%と少ない。

④観光客はどこから来ているのだろうか

奈良県内	他府県	海外	回答無し	計
61 (16%)	310 (80%)	5 (1%)	12 (3%)	388 (100%)

■奈良県在住者以外の他府県の内訳は大阪からが一番多く153人(49%)、ついで京都24人、兵庫20人と続く近畿圏は72%、関東は東京が14人など29人(9%)、それに続くのは愛知14人などの東海、中部が多かった。

地域	人	府県内訳
北海道	1	
関東	29	東京14、神奈川7、千葉2、埼玉5、茨城1
東海・中部	20	愛知14、静岡2、岐阜3、長野1
近畿	223	大阪153、京都24、兵庫20、和歌山13、三重9、滋賀4
中国・四国	7	広島4、香川2、愛媛1
九州・沖縄	8	福岡6、熊本1、沖縄1